

第7回 県道長井古座線 八郎山トンネル技術検討委員会

議事要旨

1. 日時：令和8年3月18日（水） 11：00～11：30（現地調査）
13：15～14：15（会議）
2. 場所：八郎山トンネル（現地調査）、和歌山県水産試験場 2階 学習ホール（会議）
3. 委員：（敬称略、出席者のみ）
 - ・大西 有三（京都大学）：委員長
 - ・砂金 伸治（東京都立大学）：委員
 - ・日下 敦（国立研究開発法人 土木研究所）：委員
 - ・中本 純次（和歌山工業高等専門学校）：委員
4. 議事要旨
 - ・第6回技術検討委員会以降進めてきたインバートコンクリートの修補、覆工コンクリートの再施工に関して、適切な方法で安全に十分配慮し施工されていることを現地及び報告にて確認した。
 - ・計測結果から構造上対策が必要になるような顕著な地山の変位がないことから現時点では安全が保たれていることを確認した。
 - ・各種施工管理資料、電磁波レーダ探査結果から再施工されたインバートコンクリート・覆工コンクリートに厚さ不足や周辺の空洞は認められなかった。
 - ・県による工事の監督や施工工程の適正さの確認は適切に行われていた。
 - ・構造の安定や利用者の安全が図られた健全なトンネルが再構築されたと判断し、引き続き現場の安全確保を最優先に修補工事を進めていくよう要請した。
 - ・今後は日々の管理の段階において、不具合が生じてもすぐ対応できるよう、適切かつ継続的に点検および記録することを要請した。
 - ・今回の施工不良の教訓を今後施工するトンネルに反映されるよう良質な記録を残すこと、および委員会資料をホームページで公開する際には、よりわかりやすい表現などを用いた資料とするよう要請した。